

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372400248		
法人名	医療法人 宏友会		
事業所名	グループホーム元気村2		
所在地	半田市浜田町3-10-5		
自己評価作成日	平成23年11月25日	評価結果市町村受理日	平成24年3月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉総合研究所株式会社		
所在地	名古屋市東区百人町26 スクエア百人町1階		
訪問調査日	平成23年12月14日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

現在の場所へ移転以降、アセスメントやケアプランの策定・評価には、十分に力を入れている。アセスメントでは、センター方式を用いたアセスメントチーム(4名)からあらゆる角度で利用者様の立場に立ったプランを作れるようにしており、半年に一度の見直し、評価では一ヶ月毎に定期的に取り組み、柔軟な対応ができるようにしている。6ヶ月に一度家族懇談会を開き、利用者様とご家族またはご家族同士に交流の機会を設けている。2ヶ月毎の運営推進会議では、認知症についてや口腔ケアについてなどを議題に開かれた施設を目指している。基本的な介護面としては、3大介護を重点的に行っている。排泄では、一人ひとりに合わせた誘導・介助方法で対応し、入浴では機械浴日と一般浴日と隔日に設けている。食事は、食事形態も柔軟に対応できるなど一人ひとりの利用者様に合った方法で個別的に取り組んでいる。工業地帯という立地条件ではあるが、隣のショッピングセンターを活かし、散歩しつつ買い物に出掛けられる特色も出せている。その人らしい生活をしたいだけという、その人のペースを大切にし、理解して思いを共有できる様に行動をなるべく束縛せず、自由に過ごしてもらえよう日々職員同士、上司と話し合いながら取り組んでいる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに努力していると思う</li> <li>・理念を掲示おり、職員はいつでも目にでき意識を持って実践が出来るよう努力している</li> </ul>		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の環境に住宅がないため、繋がりを持ちづらいが、何かある時はお声掛けしている</li> <li>・日常的な関わりは難しい</li> <li>・2か月に一度の運営推進会議で地域の人と交流している</li> </ul>		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり出来ていない</li> <li>・地域貢献とまではいかないが、関わる家族への情報提供は行っている</li> <li>・運営推進会議では「認知症」を取り上げた</li> </ul>		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的開催し、話し合いの場を持ち意見を伺っている</li> <li>・内容の濃いものを行っていると思う</li> </ul>		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議への参加されている</li> <li>・施設長が取り組んでいる</li> </ul>		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束はしないケアに取り組んでいる</li> <li>・離設の危険性もあり、一部の方には見守りが必要</li> <li>・ミーティングで「身体拘束について」の学習を行った</li> <li>・判断が難しい場合は施設長に判断を仰いでいる</li> <li>・建物の構造上、日常的に施錠されている所もある</li> </ul>		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に身体をみて、傷や内出血等がないか気をつけている</li> <li>・虐待についても勉強会している</li> <li>・虐待の境界線が難しい</li> <li>・内出血等のけがを発見した時は記録に残している</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で成年後見制度等を学習している</li> <li>・法人内研修会により学ぶ機会があった</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長が行っている</li> <li>・ミーティングの際、内容を確認したが家族に説明できるまでには至っていない</li> <li>・契約には説明に十分な時間をとり、理解・納得を図っている</li> </ul>		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に利用者様や家族に意見や要望をお聞きし、反映できるようにしている</li> <li>・運営推進会議で質疑応答の時間を設けている</li> <li>・ご要望等を伺った際には連絡ノートに記入し、周知を図っている</li> <li>・家族会、日常の来所の折などに意見交換、情報交換の機会を設けている</li> </ul>		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度ミーティングを行い、意見交換の機会がある</li> <li>・意見があれば、それを提示し、聞いてもらう機会はある</li> <li>・施設長専用ノートに記入する事で反映されている</li> </ul>		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休暇の希望が反映されている</li> <li>・個々の働く条件などについて意見を聞いてもらっている</li> <li>・年に一度程度個人面談があり、皆がやりがいを感じながら勤務できるようにしてもらっている</li> </ul>		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に一度の法人研修に加え、不定期に法人会研修の情報が提供されている</li> <li>・事業所内でも年間計画に沿って研修が行われている</li> </ul>		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設の見学を行えた</li> <li>・法人内の交流会や勉強会がある</li> <li>・外部研修の際には交流が持てる</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく利用者様が要望や不安などを話せるようにコミュニケーションをとり安心して頂けるように努めている</li> <li>・施設長が行っている</li> <li>・傾聴に努めたが、遠慮がちにされたり、意思疎通困難な事が多い</li> </ul>		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期は特にアセスメント等をお聞きした時や来所の際に積極的に要望や不安を訪ねた</li> <li>・出来る限り務めている</li> </ul>		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話をしていく中で何を求めて何を望んでいるかを知り、対応していくようにしている</li> <li>・自分のできる範囲で行っている</li> </ul>		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に敬い受容し認めあう関係を築けるように努めている</li> <li>・調理や清掃、洗濯に参加して頂き、役割を持っていただけのように努めた</li> <li>・出来る限り寄り添うケアを心がけている</li> </ul>		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に電話や家族会、来所された際にコミュニケーションを図るようにしている</li> <li>・密に連絡をとったり情報交換をしている</li> <li>・行事や会議への参加もお願いした</li> <li>・家族や知人が来所されやすい雰囲気作りに努めている</li> </ul>		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間に入って、支援調整に努めている</li> <li>・家族の協力が得られない時は難しいと感じる</li> <li>・来所しやすい雰囲気を大切にし、常に感謝の気持ちをもって接している</li> <li>・個別の外出行事の際に昔馴染みの場所を訪れた</li> </ul>		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う方、仲良しの方、利用者様同士が関わりあえるような席やレクリエーションなどを考慮している</li> <li>・一人ひとりの細かな把握に努めている</li> <li>・集団の中でうまく人間関係が築けるようにお手伝いしている</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要があれば支援は行っていると思うが、よくわからない</li> <li>・他施設に移った利用者様を数回訪れた</li> <li>・サービス終了後、相談等があれば喜んで応じている</li> </ul>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念のようになれるよう努めている</li> <li>・家族や利用者様に何う事により把握している</li> <li>・疎通が難しい方には家族より判断や意向を伺っている</li> </ul>		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馴染みの物を持ってきていただいたり、アセスメントより理解に努めている</li> <li>・職員間の情報交換で把握に努めた</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活の中で変調等がないか常に注意している</li> <li>・状態の変化があるときには、申し送り、記録に残した</li> </ul>		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一度の介護計画作成と毎月のマンスリーにより実行</li> <li>・状態の変化があった時には記録に残し、必要と思われれば、担当者に伝えるように努めた</li> <li>・施設長や職員の意見を参考に介護計画を作成している</li> </ul>		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に夜間帯の状態は伝わりにくいので、細かく記録に残した</li> <li>・毎日の申し送りやミーティングで職員間の情報を共有した</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や状態など身体の変化に応じその時々合った支援をしていけるよう取り組んでいる</li> <li>・同じ建物内にリハビリやフィットネスを流動的に利用できる</li> <li>・歯科の往診や移動美容室の利用など必要に応じて実施</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・ボランティア等を積極的に来所して頂いている ・ご家族の協力によりおやつ作りや歌のレクリエーションが多彩になった		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・2週間に一度往診をしていただいている ・必要に応じた1階への受診をしている ・必要に応じて希望する医院への受診をしてもらっている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・常に連絡がとれ、訪問して下さる看護師と平日には1階に勤務している ・不安な事や利用者様の状態の変化をすぐに看護師に相談できている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・法人内でも入院できる病院がある ・サマリー等で情報交換をしている ・法人外でも情報交換や相談を電話や文書でしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・入所の際や定期的に話を常にしていくようにしている ・意向を事前に家族に確認している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・勉強会を開いたり、訓練したりと定期的に行っている ・ミーティング内で応急処置についての研修を行った ・希望者は外部の救急法などの研修に参加している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・避難訓練を行っている ・訓練は行っているが実践できるかはわからない		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇勉強会やミーティング等や月のテーマとして人格尊重や敬う気持ち等を持ち接していくように努めている</li> <li>・特に排泄について問う際には言葉かけに注意した</li> </ul>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ希望に添えるようにしているが答えられないこともある</li> <li>・うまく希望を言葉に表せない方は表情や行動などから気持ちを組むようにしている</li> <li>・出来るだけしているが、充分ではないかもしれない</li> <li>・時間を見て、利用者間と一対一でお話する機会を作り意向を伺うように努めた</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人のペースを大切に、ゆとりを持って過ごして頂けるようにしている</li> <li>・職員の都合が優先されることも多い</li> <li>・「寄り添うケア」を目標に実践し努力している 以前より職員のペースに左右される部分は減ったと思う</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人に服を選んでもらうようにしている</li> <li>・人によって難しい部分がある</li> <li>・身だしなみには気を配っているがあまりできていない</li> </ul>		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人のペースで召し上がっていただけるようにし、準備や片付け等のお手伝いをしていただける方には一緒にお願いをした</li> <li>・一部の方のみになってしまっている</li> </ul>		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、水分をチェック表に記入し状態把握に努めている</li> <li>・各利用者様に合わせた食形態を用意している</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後に口腔ケアを行い、ご自分できる方には行っていただき、週に一度入れ歯洗浄剤を使用している</li> <li>・強く拒否がある場合には時間を空けて行っている</li> <li>・行った際にはチェック表に記入している</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にトイレにお誘いし状態に応じた対応を行っている</li> <li>・おむつに頼らないようにしている</li> <li>・排泄表により排泄パターンを把握するようにしている</li> </ul>		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分摂取や食事形態に注意し、服薬調整や腹部のマッサージなどで予防している</li> <li>・医師や看護師に相談しながら取り組んでいる</li> <li>・便座に座ることで腹圧のかかりやすい状況を作り排便につながるよう配慮している</li> </ul>		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や気分を考慮しながら出来るだけ良いタイミングで入浴して頂いている</li> <li>・基本的には一般浴とミスト浴に分け週に3～4回の入浴を実施している</li> <li>・曜日や時間は決まっております完全な希望に沿うことは難しい</li> </ul>		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調や希望に応じて休息したり就寝したりできるようにしている</li> <li>・日中、臥床して頂くこともある</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤情報に目を通し、薬の目的や副作用、用法用量を理解するようにしている</li> <li>・薬が変わった際には、よく観察するようにしている</li> <li>・薬の変更などは申し送りなどで確認</li> <li>・服薬の支援もその日の中で決めチェック表に記入している</li> <li>・利用者様の理解は少数である</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝いやレクリエーションを通じて声掛けや話し合いをしている</li> <li>・皆で同じことをやるが多く、全員参加に至っていない</li> <li>・家事など得意なことをお願いした</li> <li>・買い物や外出等で気分転換を図っている</li> <li>・嗜好品は家族によるところが大きい</li> </ul>		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペシャルDAY行事などで外出して家族の方と一緒に掛けたっている</li> <li>・隣接していた店舗がなくなり日常的な買い物は減ってしまった</li> </ul>		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所持してみえる方は少数だが、外出時はお好きな物が購入できるようにしている</li> <li>・利用者様の金銭は施設長が管理している</li> </ul>		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が電話することが難しいが希望があれば支援している</li> <li>・手紙のやり取りはほとんどない</li> </ul>		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外の音が大きい二重サッシにしたりカーテンや空調等で室温湿度を配慮している</li> <li>・カレンダーや掲示物で季節をお伝えするようにしている</li> </ul>		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い思いに過ごせるようにソファや畳などを工夫してある</li> <li>・廊下にも自由にくつろげる椅子がある</li> <li>・共用空間には気のあった方同士など席の考慮をしている</li> </ul>		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前よりお持ちの物や使い慣れたもの、作られた作品等を飾ったりして居心地の良いようにしている</li> <li>・ご家族伝え少しでもくつろいで過ごせるようにしている</li> </ul>		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室には名前や写真が貼ってあったり、トイレにはわかりやすく掲示してある</li> <li>・安全に生活できるように努力している</li> <li>・段差等あるば見守りなどで工夫している</li> </ul>		